

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 25年 11月30日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4690100526号
法人名	有限会社 友星メディカル
事業所名	グループホーム うすき
所在地	鹿児島市 宇宿 2-13-17 (電話) 099-255-2835
自己評価作成日	平成25年10月25日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成25年11月14日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・工場地帯の中にあり、周りに民家がほとんどないという立地ではありませんが、静かで落ち着いた環境を維持できています。敷地が広いので2か所の畑で季節の野菜などを栽培し、利用者の皆様とスタッフで収穫の楽しみを分かち合っています。スタッフの半数以上が20代30代の職員であり、活気と笑い声に満ちたグループホームといえるのでは、と思っております。地域におきましては、町内会に入れて入れていただき、定期的に交流を持っているほか、小学校中学校の資源ごみ回収にも協力させていただいています。近くに商業施設が多数あるので、都市部にある施設の特性を生かして運営したいと思っております。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

周りに海、川、マンション、工場、大型商業施設が立ち並ぶ、広い敷地のなかに、二階建てのグループホームはあり、敷地内の散歩や菜園を楽しんだり、買物が便利な環境である。管理者と若い職員は、理念に沿った笑顔、利用者の思いに寄り添ったケアを目指し日々努力している姿がうかがわれる。町内会に加入し民生委員との交流もあり、地域行事の情報収集やイベントへの参加、ボランティアの受け入れなど、地域との交流を図っている。小、中学校のリサイクル活動にも参加しており、利用者と子ども達との交流の機会にもつなげている。運営者、管理者は職員の資格取得にも積極的であり、職員の資質向上は利用者へのケアサービスにつながるものである。主治医や緊急医療連携もとれ、災害時の訓練や避難経路の確保もされ、常に利用者や家族の安心と安全が得られる体制のグループホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	施設内各所に掲出している。毎日の朝礼で唱和を行って、スタッフの意識づけをしている。	創設時に、笑顔と信頼で職員の目指す心を一つの思いで掲げた理念であり、玄関や和室、二階と目に付きやすい場所に掲げ、朝礼で唱和し、確認しながら実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内内に参加し、班長を3年連続でさせていただいている。小学校中学校の資源ごみ回収に協力している。	管理者は町内会の班長を務め、民生委員との交流もあり回覧板や地域の情報を知らせてくれる。小、中学校の子どもたちによるダンボール回収時には利用者とのふれあいもあり、楽しみのひとつになっている。地域行事にも参加したり、今年のクリスマス会には踊りのボランティアも予定している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	地域の方の見学や行事への参加があった。毎回の運営推進会議に参加いただいている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現状や問題点を提示して、より良いサービスにつなげるために、意見を求めている。	家族代表や地域包括支援センター職員を含む構成員で定期的に運営推進会議を開催し、取り組みの状況報告や問題点を話し合っている。一年間の議題を作成することで意見が出やすい会議の場である。ホームの敷地が広く雑草も茂りやすいため、構成員から草取りの提案も出ている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	生活保護受給者が多いので、市の担当者との定期的な連絡・相談を実施している。	市町村の担当者の2年ごとの交代時に、その都度ホームの現状報告やケアサービスの取り組みを伝えている。介護相談員の受入れもあり、市町村からの情報も職員会議で共有し、協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎月の職員会議の中で、毎回身体拘束についての研修を実施している。身体拘束の意味を理解してケアに取り組んでいる。	職員会議で身体拘束について勉強会を行っている。玄関の施錠はせず、利用者の自由と安全を見守りと声かけで取り組んでいる。	指定地域密着型サービスにおける禁止の対象となる行為の文章はあるが、職員、新人研修などで日々振り返れるような具体的な行為のマニュアル作成と、定期的な研修会を開くことで、全職員でケアの在りかたを共有することを望みます。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	毎月の職員会議の中で、毎回虐待についての研修を実施している。虐待の意味を理解してケアに取り組んでいる。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	実際に成年後見制度についての取り扱いが、施設内で3件あり、学ぶ機会となった。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時に管理者から説明を行い、十分な理解をいただいている。また、退去後の生活に不安のある方にも、相談に応じている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関肉相談苦情箱を設置している。家族の面会時にお話を聞き出す努力をしている。	家族からの意見や要望は敬老会を兼ねた家族会や面会時、運営推進会議などで聞くように心掛け、利用者は日々の会話で汲みとっている。異性との食事をためらう利用者さんへは家族の要望もあり、さり気ない配置変えの配慮もある。写真入りのホーム便りも喜ばれているが、家族の意見が言い出せるように連絡ノートのな物も検討している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	個別に意見を受け付けるほか、毎月の職員会議の場で、係活動としての提案なども聞いて、日常の業務に反映させている。	職員間で役割担当を決め、それぞれが気づいたことを話し合い改善し運営に活かす努力がみられる。運営者、管理者は職員の資格取得にも熱心であり、殆どの職員は有資格者である。日常的な職員との関わりのなかで生まれるアイデアや意見を取り入れている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	パートから準職員への昇格などの希望を代表者に伝え、本人の勤務上の希望を叶えている。資格取得への事業所としての協力をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内外の研修参加を、各職員の特性を考慮して、促している。勤務の日程や時間に配慮している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>近隣のグループホームとの連携を取り、可能な範囲で行事に参加している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前に施設を見学していただき、十分な説明と相談を受け付けている。入居以前の生活を教えていただき、入居後の生活につなげている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居前に、家族が不安に感じていることを聞き取り、具体的な対応ができるように努力している。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>サービス開始後は、特に慎重に観察を行い、臨機応変な対応機心がけている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>何かしら、本人自身で取り組んでいただけることを探し、スタッフがかわりを持って取り組めるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	落ち着いてくつろいだ環境で面会していただけるように、心がけている。家族の役割を意識していただくように声掛けをしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の了解を得たうえで、知人友人などの面会をしていただいている。	家族と行きつけの美容室に出かけたり、買物を兼ねたドライブや近場の大型ショッピングモールに出かけている。友人や知人が訪ねてきたり、畑仕事や手作業を好む利用者など、これまで大切にしてきた継続の支援である。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	座席や入浴の順番などを配慮し、気持ちよく過ごしていただけるようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居時に、今後も訪問していただけるような声替えをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	会話や表情、言動から本人の希望をくみ取るように努めている。	一人ひとりの思いや暮らし方の希望を日常の会話や表情で把握に努め、意思疎通の困難な利用者は入所時や面会時などで家族から聞いたり職員間で話し合い、本人本位に検討している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族との会話の中から、以前の生活の様子を聞き取るように努力している。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	それぞれの方のリズムを考慮して、無理のない過ごし方になるよう心掛けている。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	課題については、その都度意見を出し合い、ケアマネ一人の考えたケアにならないようにしている。	本人がより良く暮らすための課題やケアのありかたを、職員、本人、家族らに意見やアイデアを出してもらいその結果をもとに現状に即して作成している。テレビの情報誌を定期的に読む利用者や食後のコーヒーを楽しむ利用者など、個別の具体的な支援もあり、今後は家族支援も含めた介護計画を検討している		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	後で、読んだときにわかりやすい記録となること、なるべく思いが伝わる文章になることを目指している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	体調急変時の病院への付き添いや、必要な物品お買い物の代行など、支援している。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	訪問のマッサージ・ヘアカット・フットケアを支援している。皮膚科・歯科の往診を実施している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者本位の受信ができるように、本人と家族の望む医療機関と連携を図っている。	利用者はこれまでのかかりつけ医が殆どであり、家族と受診している。協力医療機関の受診は職員が同行し往診もあり本人が納得のいく受診支援である。ヒヤリハットも詳細に記され職員は情報を共有しかかりつけ医にも報告されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>1名の看護職員がいるので、介護職員は必要な情報を取得して日常の業務に活かしている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院中の定期的な面会をしている。家族や関係者から情報を取得して、早期の退院に協力をしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化や終末期のケアの指針を作成しているので、入居時と機会をとらえて随時提示し、説明している。</p>	<p>入居時にホームとして出来ることの説明をし昨年、方針や指針も文章化されている。状況変化による繰り返しの説明で本人と家族の安心が得られるような支援体制であり、職員も方針の統一に向け取り組んでいる。</p>	<p>本人や家族に重度化に向けた方針を機会あるごとに口頭で説明していたが、昨年、見落としの無いように方針の文章化がされている。双方の考え方の相違が生まれないように同意書を交わすことを期待したい。</p>
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時のマニュアルを掲示している。研修で対応を学び、あわてないよう指導している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年度内に3回の訓練を実施している。(昼間想定・夜間想定・地震津波)</p>	<p>昼夜想定 昼夜想定 の非難訓練を消防署の指導を受けながら行っている。非難経路や避難場所も確保され2階との踊り場には独自の緊急用タンカも準備され、居室の入り口にはお手製の布の防災頭巾がさげられている。利用者が安全に避難できる方法の工夫がみられ、備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	排泄に失敗した時など、本人のプライドを尊重した対応に心掛けている。	誇りやプライバシーを損ねない声かけを心がけ、トイレ誘導への気配り、排泄の失敗時も居室へさりげなく誘導をしている。職員は守秘義務の徹底や利用者の人格を尊重している、個人情報も管理者で守られている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	困難な方も多いが、希望をくみ取り、心の声を聞き出せるように、信頼関係を築くことを指導している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	毎日の心身の状態をしっかり把握して、無理のない生活を送るように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	訪問のヘアカット時は、なるべく本人の希望に沿ったカットをお願いしている。行事参加時化粧していただいている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	盛り付けやお盆拭きなどに協力していただいている。	利用者の好みの食事になるように時には職員はレシピを活用したり、四季を感じる菜園を利用した献立など、臨機応変な食事の支援と、残存機能を活かした利用者の手伝いもある。家族と外食を楽しんだり、ミキサー食をさらに裏ごしをして、少しでも口から食べてもらう配慮もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量を毎回記録している。個人ごとにペットボトルに湯冷ましを入れ、テーブルに置いている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事後は毎回、スタッフが協力して、口腔ケアに取り組んでいただいている。必要に応じて歯科往診を実施している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の係が各個人の排泄の状態について検討するほか、必要以上の介助を行わないこととしている。	一人ひとりの排泄パターンをチェック表で把握し、担当係が声かけや個別のトイレ誘導を行っている。リハビリパンツから布パンツに変わった利用者もおり可能な限り、トイレで用を足すための自立に向けた支援である。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事と水分の量、運動に配慮するほか、必要に応じた薬の調整を行う。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	その日の心身の状態を考慮して、順番を流動的にするほか、ゆったりと楽しく入浴していただけのように、入浴剤を使用している。	週3回の入浴であるが、希望があれば毎日入浴や、寝つきの悪い夜には足浴でゆっくり休んでもらっている。シャンプーやボディソープも刺激の弱い本人好みの物を使い、入浴剤を使用し楽しんでもらっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人のペースに合わせた臥床時間を、検討して実施しているほか、体調に合わせるようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	定期薬・臨時薬それぞれを理解し服用できるように、薬の説明書を毎回確認している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	それぞれの個性に合った毎日の過ごし方を考えて、支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	桜の花見・コスモス見学・ソーマン流し・ショッピングなどの定期的な実施により外出行事を行っている。	晴天の日には外気浴を兼ねて近場の川浴いまで散歩に行き、歩行困難な利用者も車椅子で出かけている。さくらの花見やコスモスなどを見に家族と出かけた後、外食、大型ショッピングへの買物を楽しむなど日常的な外出支援である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自己管理される方はいないので、スタッフが預かって必要に応じて対応している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族に電話したいときは、遠慮なくかけていただくよう声掛けしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節感のある装飾を心がけるほか、あまり華美になったり幼稚なものにならないように心がけている。</p>	<p>玄関とリビングフロアは広く清潔であり、トイレや浴室も整理整頓されている。廊下も広く、車椅子での移動にも配慮され、壁には職員の手作り貼り絵や利用者のイベント参加の笑顔の写真が飾られている。利用者はソファや畳でゆっくりくつろげる空間になっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホール内の4か所にソファを配置しており、思い思いにくつろいでいただけるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れたものを居室内に置くなど、居心地良く住んでいただけるように心がけている。</p>	<p>利用者のこれまでの思い出の写真やタンスなどが持ち込まれ、本人が使いやすい位置に配置されている。日差しが入る窓際で日光浴を楽しむ利用者や大型仏壇を持ち込まれた利用者もいた。本人にとって居心地よく過ごせる居室になっている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>安全と自立を考慮して、各個人がそれぞれの個性を生かせるグループホームとなることを目指している。</p>			



V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない